

令和6年度
第2回学校運営協議会兼
第2回学校関係者評価委員会

第2回学校関係者評価委員会資料
学校評価アンケート結果より

令和7年3月7日(金)
生駒市立生駒北中学校

中学生 生徒アンケート(オンライン)

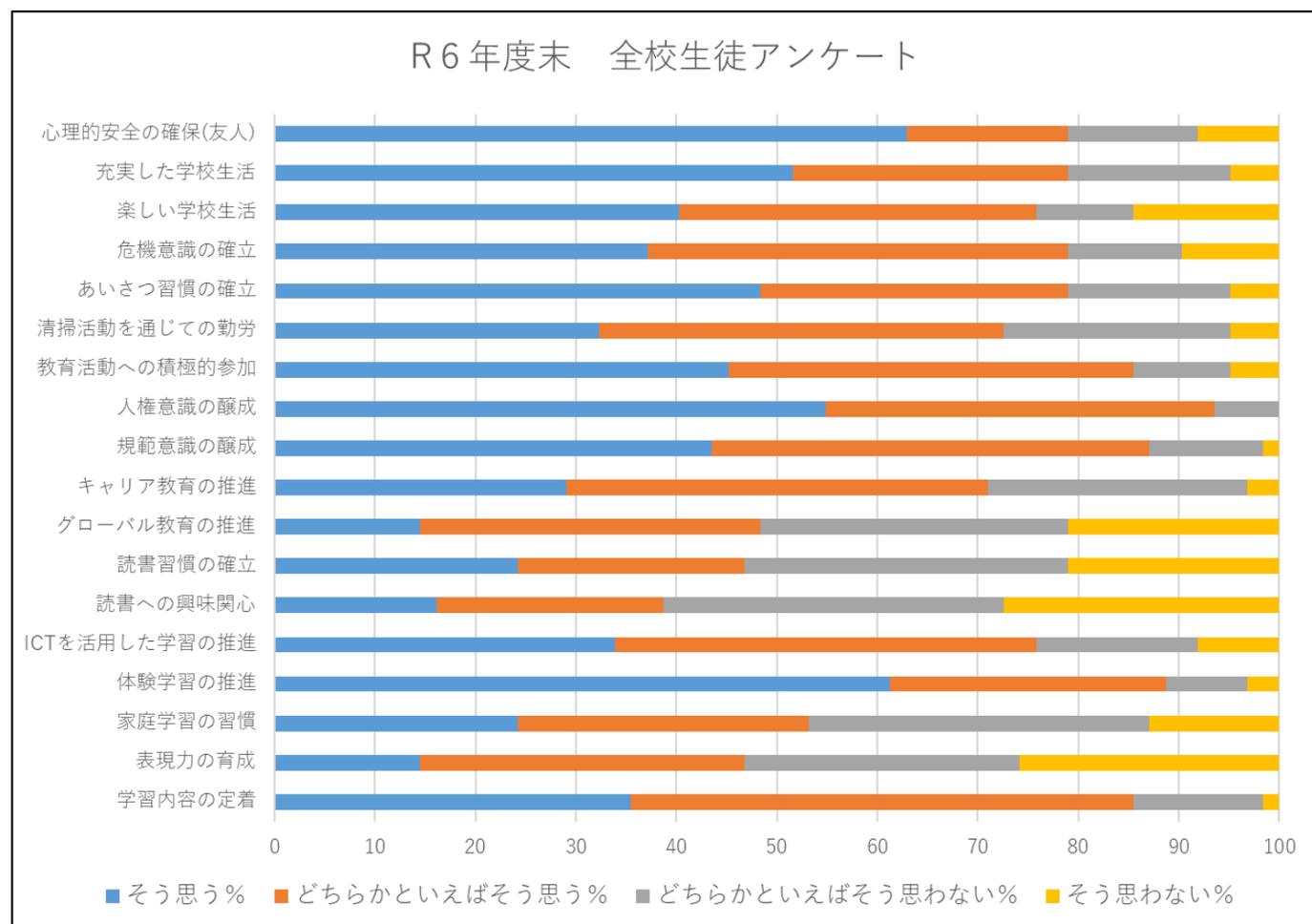
自分のことを思い出して、答えましょう。当てはまる番号に○をつけましょう。

年 組 名前 ()

		思い出すこと	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
学習	1-①	授業内容を理解している。	4	3	2	1
	1-②	授業中に進んで発表した。	4	3	2	1
	1-③	家庭学習をしている。	4	3	2	1
	1-④	体験学習（茶筌づくり体験・筆づくり体験・職場体験・こども園との交流学习等）の時間は楽しい。	4	3	2	1
	1-⑤	プロジェクターやクロムブックなどのICT機器を使用した授業を受けることで、学習への興味が深まった。	4	3	2	1
	1-⑥	積極的に図書室を利用している。	4	3	2	1
	1-⑦	よく読書をしている。	4	3	2	1
	1-⑧	教科の学習を通じて、他国や他の地域のことについて考えた。	4	3	2	1
	1-⑨	学校生活を通じて、将来の進路や生き方について考えた。	4	3	2	1
生活	2-①	学校生活を通じて、社会のルールや自己責任について学んだ。	4	3	2	1
	2-②	学校生活を通じて、命の大切さや人権について学んだ。	4	3	2	1
	2-③	生徒会活動や委員会活動、部活動に積極的に取り組んでいる。	4	3	2	1
	2-④	清掃活動に熱心に取り組んでいる。	4	3	2	1
	2-⑤	学校や地域で、誰に対してもよくあいさつをしている。	4	3	2	1
健康安全	3-①	安全面（防犯や災害）に気をつけて生活している。	4	3	2	1
学校	4-①	学校は楽しい。	4	3	2	1
	4-②	学校行事に意欲的に参加している。	4	3	2	1
	4-③	自分の悩みを相談できる友人がいる。	4	3	2	1
	4-④	自分の悩みや意見を聞いてくれる先生がいる。	4	3	2	1

R6 年度末 生徒アンケート

分類	番号	生徒	そう思う%	どちらかといえ ばそう思う%	どちらかといえ ばそう思わない%	そう思わ ない%
		項目				
学習	1-①	学習内容の定着	35	50	13	2
	1-②	表現力の育成	15	32	27	26
	1-③	家庭学習の習慣	24	29	34	13
	1-④	体験学習の推進	61	27	8	3
	1-⑤	ICTを活用した学習の推進	34	42	16	8
	1-⑥	読書への興味関心	16	23	34	27
	1-⑦	読書習慣の確立	24	23	32	21
	1-⑧	グローバル教育の推進	15	34	31	21
	1-⑨	キャリア教育の推進	29	42	26	3
生活	2-①	規範意識の醸成	44	44	11	2
	2-②	人権意識の醸成	55	39	6	0
	2-③	教育活動への積極的参加	45	40	10	5
	2-④	清掃活動を通じての勤労	32	40	23	5
	2-⑤	あいさつ習慣の確立	48	31	16	5
安 全 健 全	3-①	危機意識の確立	37	42	11	10
学 校	4-①	楽しい学校生活	40	35	10	15
	4-②	充実した学校生活	52	27	16	5
	4-③	心理的安全の確保(友人)	63	16	13	8
	4-④	心理的安全の確保(教員)	47	35	13	5



生徒アンケートの考察

R6年度末 各学年及び全校生徒アンケート

分類	番号	項目	肯定的意見(%)				否定的意見(%)			
			1年	2年	3年	全校	1年	2年	3年	全校
学習	1-①	学習内容の定着	81	100	84	85	19	0	16	15
	1-②	表現力の育成	39	58	53	47	61	42	47	53
	1-③	家庭学習の習慣	48	67	53	53	52	33	47	47
	1-④	体験学習の推進	81	100	95	89	19	0	5	11
	1-⑤	ICTを活用した学習の推進	74	83	74	76	26	17	26	24
	1-⑥	読書への興味関心	45	50	21	39	55	50	79	61
	1-⑦	読書習慣の確立	45	67	37	47	55	33	63	53
	1-⑧	グローバル教育の推進	48	42	53	48	52	58	47	52
	1-⑨	キャリア教育の推進	65	75	79	71	35	25	21	29
生活	2-①	規範意識の醸成	87	83	89	87	13	17	11	13
	2-②	人権意識の醸成	94	100	89	94	6	0	11	6
	2-③	教育活動への積極的参加	74	100	95	85	26	0	5	15
	2-④	清掃活動を通じての勤労	61	92	79	73	39	8	21	27
	2-⑤	あいさつ習慣の確立	74	92	79	79	26	8	21	21
安康	3-①	危機意識の確立	71	100	79	79	29	0	21	21
学校	4-①	楽しい学校生活	71	92	74	76	29	8	26	24
	4-②	充実した学校生活	68	100	84	79	32	0	16	21
	4-③	心理的安全の確保(友人)	77	83	79	79	23	17	21	21
	4-④	心理的安全の確保(教員)	84	92	74	82	16	8	26	18
肯定的意見が85%以上			肯定的意見90~100%				否定的意見41%以上			
否定的意見が31%以上			肯定的意見80~89%				否定的意見31%以上			
							否定的意見21~30%			

・今回の年度末アンケートで生徒の肯定的意見が高い割合だった項目は、「学習内容の定着」「体験学習の推進」「規範意識の醸成」「人権意識の醸成」「教育活動への積極的参加」「心理的安全の確保(教員)」の6項目で、いずれも 85%以上の生徒が肯定的な評価をしている。特に「人権意識の醸成」は、90%以上の生徒が肯定的な評価をしており、多くの学年で高い達成率であり、今年度の教育活動において十分達成できたといえる。特に人権意識の獲得は、集団活動の場である学校生活において必要不可欠であり、人間関係確立のうえでも大切な要素である。このことから本校の生徒は、インクルーシブ教育が根付いて、多くの生徒が相互理解をして落ち着いた学校生活を送っているといえる。今年度の教育活動において大きな問題は起こらず、概ね安定した教育活動が展開されていたといえる。来年度の教育活動においても、これらの点を大事にして教育活動を進めていきたい。「体験学習の推進」「規範意識の醸成」の2項目は、肯定意見がそれぞれが 89%、87%と肯定意見も多く、今年度の教育活動において目標を達成したと思われる。来年度の教育活動において、さらに多くの項目で安定した達成がなされるように取組の強化を図っていきたい

・肯定的意見の割合が高い項目が一番多い学年は2年生で、19項目中12項目で肯定的意見である。次いで肯定的な回答が多いのは3年生で19項目中6項目で、1年生は19項目中5項目となり否定的意見が多いことが気になる。しかし、今よりも楽しく充実した学校生活を送るために、また、生徒が自身を認められるといった自己肯定感の獲得のために、各項目で肯定的意見が多いことが良いのは言うまでもないことである。来年度の教育活動において、低評価であった項目に重点的に取り組み、改善を図っていきたい。啓発していきたい。「読書への興味関心」「読書習慣の確立」は、いずれも否定的意見の割合が50%以上であり、非常に低い達成率となってしまった。アンケートの実施時期から、3年生の達成率が低いことはある程度予想することはできる。学校では、学校司書が図書館だよりを発行したりして図書の本を身近に感じさせて読書への興味や意欲付けを図ったり、校内ビブリオバトルの取組を行ったり、学校司書や図書委員が、お薦めの本の紹介やお楽しみプレゼントを用意するなどの取組を行ったりしている。ただ達成率が低いことについては更なる方法や改善が必要であると思われる。読書は、想像力や思考力、判断力の育成に有効であり、その習慣化は是非とも図りたい。そのために家庭にも協力を依頼して、生徒の読書習慣の確立を目指していききたい。

教員アンケート

R6年度 学校評価（北中） 自己評価

名前（ ）

評価指数 4) 当てはまる 3) 概ね当てはまる 2) あまり当てはまらない 1) 当てはまらない

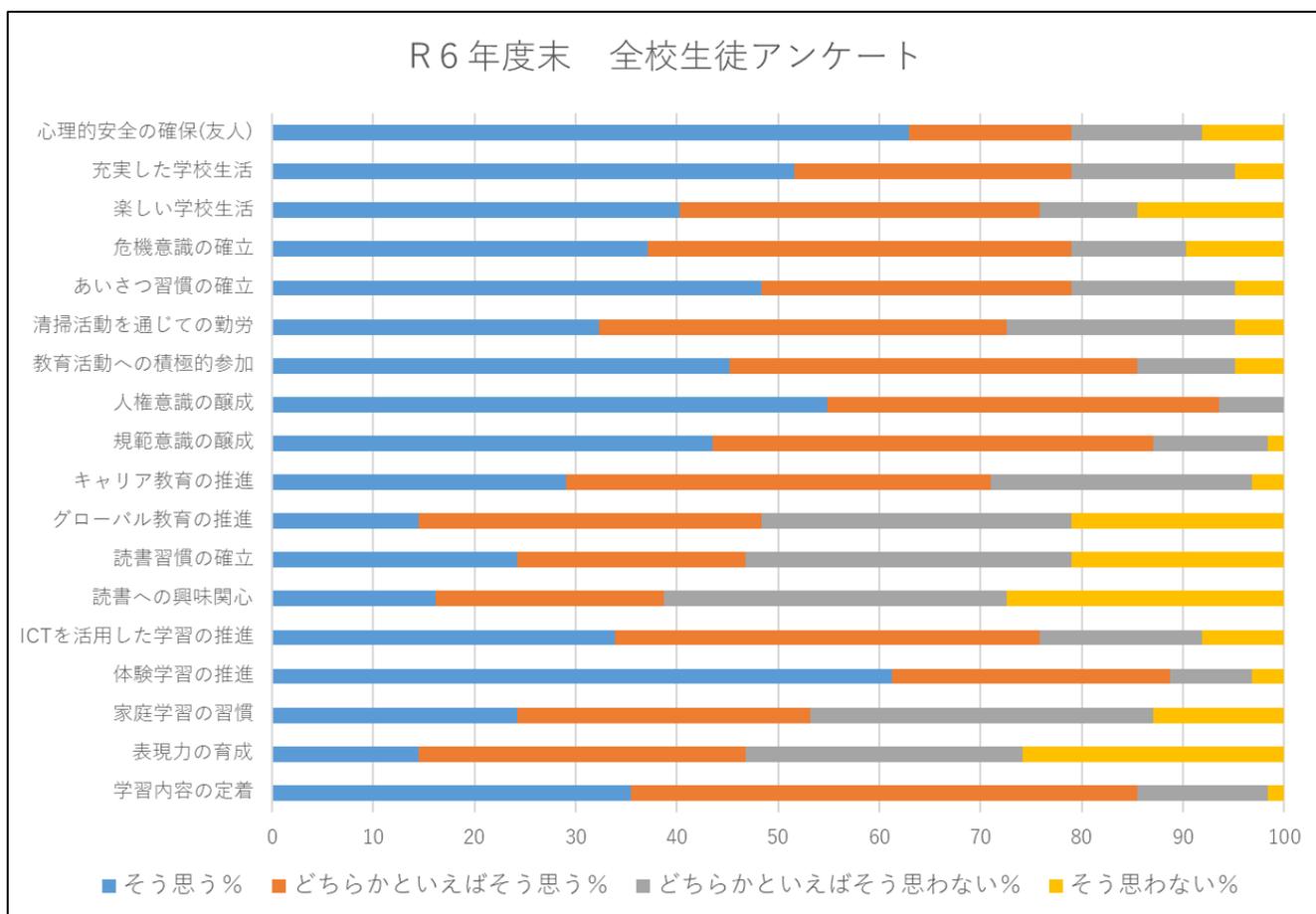
重点目標・重点課題			達成目標	項目	評価	備考 (改善点等)
県	生駒市	本校				
知： 確かな学力の育成	①課題の発見や解決に向けた主体的・対話的で深い学びの実現 ②地域と連携した協働活動の充実 ③グローバル時代に対応した英語教育の推進 ⑦読書活動の充実	知：自ら学ぶ意欲と態度を培う学習指導を推進する	基礎・基本的な学習内容の定着を図り、生徒の興味・関心を引き出す授業を展開している。 【授業力向上への取り組み】	努力目標		
			生徒の実態を的確に把握し、可能性を伸ばす指導に努めている。 【少人数指導・放課後自習教室等の推進】			
			体験的な学習・問題解決的な学習を取り入れ、主体的な学習活動を通して自ら学ぶ意欲と態度を育成している。 【体験学習・体験活動の充実】			
学習過程での評価を通して、生徒の学習状況を把握し、その成果を学習指導に生かしている。 【指導と評価の一体化】						
徳： 豊かな人間性の育成	④規範意識や情報モラルについて主体的に考える道徳教育の充実 ⑤自尊感情の醸成 ⑥全ての生徒の心の居場所づくり ⑧幼稚園・保育園・こども園・小学校との連携	徳教育：豊かな心を育てる道徳指導を推進する	教育活動全般を通して、実践力の伴う道徳教育を展開している。 【規範意識の育成】			
			あらゆる差別を許さない人権教育を展開している。 【なかまづくりを中心とした学校づくり】			
			望ましい生活習慣を身につけさせている。 【生徒指導の充実】			
			心の教育を推進している。			
			カウンセリングマインドを基本に、未然防止の生徒指導に努めている。 【二者面談等の実施】			
体： たくましい心身の育成	⑨健康でたくましい体づくり	体：健康な体とたくましい体力づくりを推進する	生徒の健康の現状を把握し、疾病の予防と健康で安全な生活を営む習慣や態度を培っている。 【保健指導の充実】			
			体育の授業だけでなく、進んで運動に親しみ、スポーツの楽しさと併せて体力の向上に努めている。 【部活動の推進】			
		生徒ひとりひとりに研鑽に励む	教育専門職としての自覚のもと、絶えず自己研修に努めている。			
			学校安全管理と環境美化に努め、美しい学校づくりに努めている。			
			地域から信頼される開かれた学校づくりに努めている。			
			学校教育目標は、生徒や地域の実態を踏まえたものとなっている。	基本 教育 方針 全般		
			学校教育目標の達成に向けて、教育課程が編成され年間指導計画に基づいて指導が行われている。			
			自ら考え行動し、未来を切り開く生徒の育成を目指した教育を推進している。			
			校務分掌は適材適所の配置のもと、機能的に運営できている。	職員 組織		
職員間で意思疎通を図り、十分な連携がとられている。						
日々の教育活動における問題や悩み等について、気軽に相談できる雰囲気である。						

R6年度末 教員アンケート

分類	番号	教員		当てはまる(%)	概ね当てはまる(%)	あまり当てはまらない(%)	当てはまらない(%)	肯定意見(%)	否定意見(%)
		項目							
学習(知)	1-①	授業力向上への取組		45	55	0	0	100	0
	1-②	少人数指導・放課後自習教室等の推進		55	45	0	0	100	0
	1-③	体験学習・体験活動の充実		45	55	0	0	100	0
	1-④	指導と評価の一体化		36	64	0	0	100	0
生活(徳)	2-①	規範意識の育成		18	64	18	0	82	18
	2-②	なかまづくりを中心とした学校づくり		45	36	18	0	82	18
	2-③	生徒指導の充実		45	55	0	0	100	0
	2-④	こころの教育の推進		27	73	0	0	100	0
	2-⑤	二者面談等の実施		64	36	0	0	100	0
安全(健康)	3-①	保健指導の充実		36	64	0	0	100	0
	3-②	部活動の推進		18	55	27	0	73	27
研鑽(生徒の学びに)	4-①	教員の自己研鑽		45	55	0	0	100	0
	4-②	学習環境を考慮した環境整備		64	36	0	0	100	0
	4-③	地域との連携		36	64	0	0	100	0
基本(教育方針)	5-③	適切な学校教育目標		45	55	0	0	100	0
	5-③	年間指導計画に基づいた適正な指導		27	73	0	0	100	0
	5-③	学校教育目標達成のための教育活動推進		36	64	0	0	100	0
職員(組織)	6-①	機能的な校務分掌		27	64	9	0	91	9
	6-②	職員間の連携		64	27	9	0	91	9
	6-③	同僚性のある職場		55	36	9	0	91	9



R6年度末 全校生徒アンケート



教員アンケートの考察

・教員は、今回のアンケートで肯定的意見の割合が高く、「規範意識の育成」「なかまづくりを中心とした学校づくり」「部活動の推進」の3項目以外は全て肯定的意見の割合が90%以上であった。その内、「授業力向上への取組」「少人数指導・放課後自習教室等の推進」「体験学習・体験活動の充実」「指導と評価の一体化」「生徒指導の充実」「こころの教育の推進」「二者面談等の実施」「保健指導の充実」「教員の自己研鑽」「学習環境を考慮した環境整備」「地域との連携」「適切な学校教育目標」「年間指導計画に基づいた適正な指導」「学校教育目標達成のための教育活動推進」の14項目で、教員が肯定的評価をしている。20項目中14項目で100%の肯定的評価をしていることから、教員は本校の教育活動において、高い達成感を感じ自信を持って教育活動に臨んでいるといえる。このことから、本年度の教育活動において、教育目標は概ね達成されたと考えられる。来年度も今年度以上の結果が得られるよう、教育活動に邁進していきたい。

中学校保護者学校教育アンケート(オンライン)

当てはまる番号に○をつけてください。

お子さんの学年 () 出席番号 ()

	番号	評価の視点	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
学習	1	学校は、わかりやすい授業づくりに努めている。	4	3	2	1
	2	子どもは、家庭でもよく学習をしている。	4	3	2	1
	3	体験学習（茶筌作り・筆作り・職場体験・こども園との交流学習等）が充実している。	4	3	2	1
	4	子どもは、ICT機器を活用した学習を進めることで、学習内容の理解を進めている。	4	3	2	1
	5	子どもは、よく読書をしている。	4	3	2	1
	6	学校は、子どもたちに将来の進路や生き方について考えさせようとしている。	4	3	2	1
生活	7	学校は、子どもの間違った行動を適切に指導するなど、社会のルールを守る態度や規範意識を育てている。	4	3	2	1
	8	学校は、人権や命を大切に取る取組を行っている。	4	3	2	1
	9	子どもは、生徒会活動や委員会活動、学校行事や部活動に積極的に参加している。	4	3	2	1
	10	学校は、環境美化や環境整備に努めている。	4	3	2	1
	11	子どものスマホやインターネット等の使用について、家庭のルールを設けている。	4	3	2	1
健康安全	12	学校は、子どもの安全指導に努めている。	4	3	2	1
学校	13	子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。	4	3	2	1
	14	学校は、学校行事等で充実した活動を行っている。	4	3	2	1
	15	学校は、子どもの悩みや相談について適切に関わってくれる。	4	3	2	1
	16	子どもは、学校での出来事等の話をよくする。	4	3	2	1
	17	学校は、教育方針等を分かりやすく伝えている。	4	3	2	1
	18	学校は、家庭との連絡をきめ細かく行っている。	4	3	2	1

保護者アンケートの考察

R6年度末 全保護者アンケート

全保護者			肯定意見 (%)	否定意見 (%)
分類	番号	項目		
学 習	1-①	学習内容の定着	72	28
	1-③	家庭学習の習慣	54	46
	1-④	体験学習の推進	86	14
	1-⑤	ICTを活用した学習の推進	78	22
	1-⑦	読書習慣の確立	38	62
	1-⑨	キャリア教育の推進	72	28
生 活	2-①	規範意識の醸成	90	10
	2-②	人権意識の醸成	86	14
	2-③	教育活動への積極的参加	82	18
	2-④	学習環境を考慮した環境整備	92	8
	2-⑥	家庭における情報モラルの醸成	82	18
安 健 全 康	3-①	危機意識の確立	92	8
学 校	4-①	楽しい学校生活	74	26
	4-②	充実した学校生活	84	16
	4-④	心理的安全の確保	82	18
	4-⑤	親近感のある学校	70	30
	4-⑥	家庭への情報発信	62	38
	4-⑦	家庭との連携	92	8

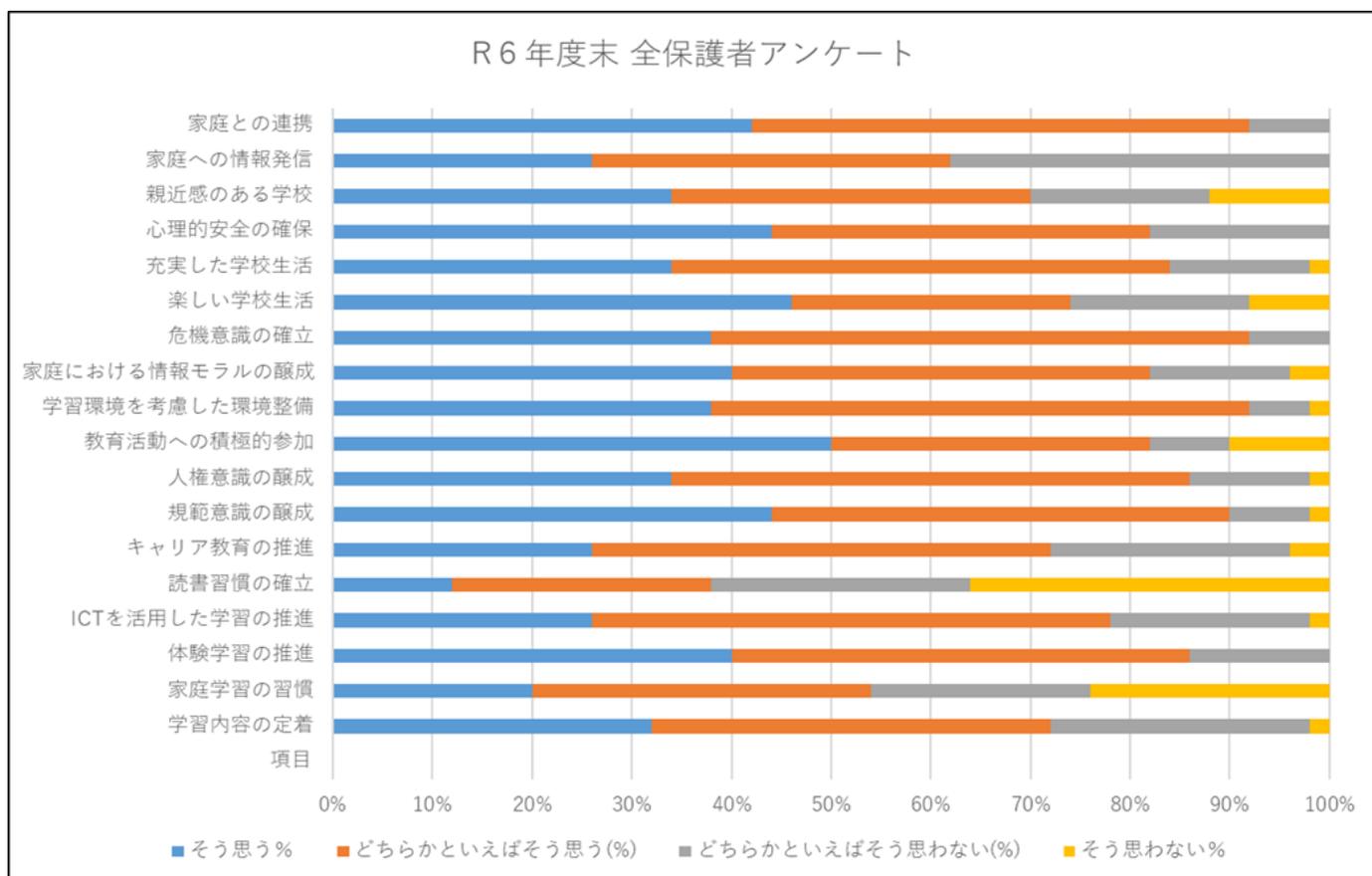
肯定的意見の割合が80以上
否定的意見の割合が31以上

肯定的意見の割合が90～100
肯定的意見の割合が80～89
否定的意見の割合が41以上
否定的意見の割合が31～40
否定的意見の割合が21～30

・今回の保護者アンケートで肯定的意見が高い割合だった項目は、「体験学習の推進」「規範意識の醸成」「人権意識の醸成」「学習環境を考慮した環境整備」「危機意識の確立」「家庭との連携」の6項目であった。いずれの項目も85%以上の保護者が肯定的な評価をしており、これらの項目については、今年度、十分達成が図られたと考えられる。次いで、肯定的意見が80%以上だった項目は、「教育活動への積極的参加」「家庭における情報モラルの醸成」「心理的安全の確保」の3項目である。これらの項目についても、ほぼ目標は達成されたものと思われる。分野別にみると、生活と健康・安全の分野はすべて高い評価であり、生徒指導をはじめとした教育活動について、高い評価をしてもらっていると思われる。学校の分野では、肯定的意見が60%台の項目があるものの、半分の項目である「充実した学校生活」「心理的安全の確保」「家庭との連携」の3項目については80%以上の保護者が肯定評価をしており、今年度の学校教育活動においては概ね達成が図られたと思われる。教育方針等を分かりやすく伝える「家庭への情

報発信」については、学校だより等を通じて丁寧に周知していきたい。学習の分野では、「学習内容の定着」「ICTを活用した学習の推進」「キャリア教育の推進」はいずれも70%台の肯定的評価であり、80%以上を達成できるよう学習指導に力を入れたい。また、「体験学習の推進」については肯定的意見が86%であり、概ね達成されたと考えられる。今後も、生徒の生きる力を育むことを目的とした学力向上を目指し、これらの取組の充実を図っていきたい。

・否定的意見が高い割合だった項目は、「家庭学習の習慣」「読書習慣の確立」の2項目であった。「家庭学習の習慣」「読書習慣の確立」の2項目については、40%以上の保護者が否定的に回答している。その内、「読書習慣の確立」については、生徒、保護者ともに5割以上が否定的に評価しており、家庭において読書をする機会が少ないことが明確になった。読書は、想像力や思考力、判断力の育成に有効であり、その習慣化は是非とも図りたいところである。学校では、学校司書が図書館だよりを発行したり、おすすめの本の『推し本』紹介をして図書の本を身近に感じさせて読書への興味や意欲付けを図ったり、司書と図書委員がお楽しみプレゼントを用意するなどの取組を行ったりしている。また、国語科の学習を通じて、校内ビブリオバトルの取組も行っている。今後、今までの取組の継続、強化を図るとともに、家庭にも協力を仰いで生徒の読書習慣の確立を目指していきたい。



児童・保護者・教員の意識比較についての考察

R6年度末アンケート児童・保護者・教員の意識比較

	番号	項目	肯定意見	肯定意見	肯定意見	否定意見	否定意見	否定意見
			生徒%	保護者%	教員%	生徒%	保護者%	教員%
学習	1-①	学習内容の定着	85	72	100	15	28	0
	1-③	家庭学習の習慣	53	54		47	46	
	1-④	体験学習の推進	88	86	100	12	14	0
	1-⑤	ICTを活用した学習の推進	76	78		24	22	
	1-⑦	読書習慣の確立	47	38		53	62	
	1-⑨	キャリア教育の推進	71	72		29	28	
生活	2-①	規範意識の醸成	88	90	82	12	10	18
	2-②	人権意識の醸成	94	86	82	6	14	18
	2-③	教育活動への積極的参加	85	82		15	18	
	2-④	清掃活動を通じての環境整備	72	92		28	8	
健康安全	3-①	危機意識の確立	79	92	100	21	8	0
学校	4-①	楽しい学校生活	75	74		25	26	
	4-②	充実した学校生活	79	84		21	16	
	4-④	心理的安全の確保(教員)	82	82	100	18	18	0

	肯定的意見の割合が90～100
	肯定的意見の割合が80以上
	消極的意見の割合が41以上
	消極的意見の割合が31～40
	消極的意見の割合が21～30

・三者とも肯定意見が 80%以上の高評価であった項目は、「体験学習の推進」「規範意識の醸成」「人権意識の醸成」「心理的安全の確保(教員)」の4項目であり、これらの項目については、今年度の教育活動において概ね達成できたと考える。特に「体験学習の推進」は、教員が 100%、児童や保護者も 85%を超える高評価であった。これについては、今年度の北中の教育活動において十分に達成されたと思われる。また、「教育活動への積極的参加」については三者にアンケート調査をしていないものの、二者が高評価をしている項目であり、この項目についても今年度の教育活動において概ね達成できたと思われる。

・評価に 20%以上の乖離が見られたのは、「学習内容の定着」「清掃活動を通じての環境整備」「危機意識の確立」の3項目である。その内、保護者と教員の間には 25%以上の乖離が見られるのは、「学習内容の定着」の1項目で、保護者の肯定意見は 72%で教員の肯定意見 100%や生徒の肯定意見 85%にも届かず、保護者と生徒・教員との意識に隔たりが見られた。教員が、生徒の学力の定着をわかりやすく保護者に伝える工夫が必要であると思われる。また、「清掃活動を通じての環境整備」「危機意識の確立」の

生徒の肯定意見が1番低いので、生徒がその必要性をしっかりと認識できるように、教員のはたらきかけ方を工夫していきたい。

・三者いずれもが低評価の項目はなかったが、生徒、保護者の二者の評価が低かったのは、「家庭学習の習慣」「読書週間の確立」の2項目である。いずれも保護者の肯定意見は60%未満で、低い評価となった。また、生徒も低評価であり、家庭における学習や読書の習慣が確立されていないことが明確になった。適切な時間の家庭学習を行うという習慣を身に付けることは、生徒が上級学校へ進学した際に必要不可欠なことであり、今後より一層、家庭と連携して習慣を身に付けられるよう図っていきたい。また読書は、想像力や思考力、判断力の育成に有効であり、読書の習慣は是非とも身に付けさせたいところである。学校では、学校司書が図書館だよりを発行して読書への意欲付けを図ったり、学校司書や図書委員がお薦めの本の紹介やお楽しみプレゼントを用意する等の取組を行っている。さらに家庭にも協力を仰いで、生徒の読書習慣の確立を目指していきたい。

